

投票率100%なるか・・・難しいけど大切な話

「投票率日本一の高校を目指して」という目標を掲げ、「VOTE 100 For your future For your future children」のポスターも掲示した。「VOTE」は投票するという意味だ。

目指せ投票率100%！目指せ投票率日本一の高校！

「若年世代の投票率が1%下がると、その世代は1人あたり年間約7万8千円も損をする。東北大学の吉田浩教授（公共経済学）が、投票結果が国の施策に影響を与えるという仮説をもとに調べたところ、こんな試算が浮上した。＜中略＞50歳未満を若年世代と定義。若年世代の投票率が1%低下すると、国債発行額は1人あたり年間約2万7千円増え、若年世代向けの社会保障費は約1万6千円減少する可能性が判明した。さらに少子高齢化など、若い世代の負担が避けられない社会的変化を踏まえると、1%の投票棄権によって、若者1人あたり年間約7万8千円の経済的負担につながると試算された。」

(<https://news.yahoo.co.jp/articles/f9478fafddf761b25c1865469c717b5cdca9e723> より)

前回の衆議院選挙（平成29年）において、世代別で最も投票率が高かったのは60代の72.04%に対し、10代は40.49%、20代は33.85%、30代は44.75%となっており、高齢者の投票率が圧倒的に高く、当選を目指す候補者・政党は、どうしても高齢者に有利な政策を中心に据えてしまう。選挙権がある諸君は、自分の将来のため、自分の将来の子どもたちのために、先人たちが命を懸けて勝ち取った参政権を行使しようではないか。

日本国憲法の前文。「日本国民は正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民と協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。」文中の「代表者」は国会議員である。この後に「信託」という言葉が出てくる。日本国民が公正公平な選挙によって「代表者」を選び、信用して任せることだ。

「われらとわれらの子孫のために」任せられる候補者・政党は誰だ。

橋本環奈も twitter でこうつぶやいている

女優の橋本環奈さんが選挙について TWEET。「期日前投票に行ってきました」「今の日本や政治については当然千差万別、多種多様な考えがあると思いますし、それは『自由』なこと」「ただその自由を手に行けるかどうかは私たちが選択してゆく政治にかかってくる。後世までしっかりと自由を受け渡していく為にも一票を大切にしたいです」（東スポ web）

You tube「VOICE PROJECT 投票はあなたの声」も見てみよう。→→→



一説には「ハロウィンは、古代ケルト民族のドルイド教で行われていたサウィン祭が起源といわれています。古代ケルトでは、11月1日が新年とされ、大晦日にあたる10月31日の夜に先祖の霊が家族に会いに戻ってくると信じられていました。しかし、悪霊も一緒にやって来て、作物に悪い影響を与えたり、子どもをさらったり、現世の人間たちに悪いことをするといわれていました。そこで人々は悪霊を驚かせて追い払うことを思いつき、仮面をかぶったり、仮装をしたり、魔除けの焚き火を行ったといわれています。」

(https://www.enjoytokyo.jp/feature/halloween/article_knowledge/) せっかくのハロウィンだから、目一杯楽しみたい気持ちも分かるが、今年はまだ穏やかに楽しんでほしい。



We keep on challenging. 挨拶日本一の高校を目指して 文責：姫路別所高等学校長 篠原 歩